

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<u>合計</u>	<u>30</u>

事業所番号	2371001195
法人名	株式会社ないすらいふ
事業所名	グループホーム セラビ高畑
訪問調査日	平成20年9月8日
評価確定日	平成20年10月7日
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社 ヤトウ

項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

記入方法
[取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。
[取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月8日

【評価実施概要】

事業所番号	2371001195		
法人名	株式会社ないすらいふ		
事業所名	グループホーム セラビ高畑		
所在地	名古屋市市中川区高畑五丁目249番地 (電話) 052-369-5160		
評価機関名	福祉総合調査研究機関 株式会社 ヤトウ		
所在地	名古屋市中区金山一丁目8番20号 シャローナビル7階		
訪問調査日	平成20年9月8日	評価確定日	平成20年10月7日

【情報提供票より】(平成20年8月18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年2月27日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	17 人 常勤 7人, 非常勤 10人, 常勤換算 4.88人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨ALC 造り
	3階建ての 1~3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	23,000 円	
敷金	(有)(210,000 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有)(150,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり		1,400 円	

(4) 利用者の概要(平成20年8月18日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	7名	要介護2	4名		
要介護3	1名	要介護4	4名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 80.83 歳	最低	61 歳	最高	93 歳
協力医療機関名	桜井整形外科・金子歯科・庄内病院				

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

3階建てのホームで屋上からはJR名古屋駅のツインタワー、港祭りの花火が見え入居者の気分転換の場になっている。階段のゆとりスペースの有効活用としてインテリアを兼ねた防災用のやさしい色使いのキャンドルが飾られ防災に対して前向きに取り組んでいる。今年度の取り組みとして、認知症に対して非薬物療法を平成20年8月~平成21年7月まで1年間を通じて全職員重点実施項目としている。内容としては、回想法、レクリエーション、ゲーム、趣味・娯楽と幅広い分野を取り入れ「何事も入居者第一として取り組む」「全体で食事会(居室外)レクなど積極的に外出を楽しんで頂く」を項目にあげて頑張っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の改善項目については、運営推進会議で外部評価結果の報告を行い、出席委員からは意見を伺う機会として活用している。年2回の社内研修には改善項目について全職員で意見交換を行い、前向きに検討している。理念については地域との関わりの大切さを、今以上に職員が理解できるように、細かく噛み砕いた内容を文章化している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価に対しては管理者からの説明を受けているが、項目によっては色々な捉え方ができ、自分の思いを文章化することの難しさを感じた。改善項目の取り組みに対して、できる項目から職員で話し合い前向きに検討している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 2か月に1回運営推進会議を開催している。メンバーに入居者、入居者家族、老人クラブ会長、知見を有する者で構成され、業務活動報告や他のグループホームで起こった新聞記事を掲載することで情報提供している。また、外部評価結果は運営推進会議で読み合わせが行われた。出席者からは、外部から見た気づきの意見があり参考になっている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 玄関に意見箱の設置はしてあるが、意見、苦情はない。入居者家族アンケートから、「代表が介護に対してしっかり向き合っているのが安心」という意見があった。口頭にて意見や相談があった時は、管理者より説明が行われ、家族に対して納得してもらえるように説明が行われている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会には加入していないが、近隣の住民とは散歩時に挨拶を交わすことで顔馴染みの関係はできており、入居者の顔を覚えてもらっている。近隣の喫茶店でお茶を楽しんだり、地域の方や友達から情報を提供してもらうことで、夏の盆踊りに参加したり、自治会主催の子ども会のお祭りに協力をしている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は入居者の気持ちを第一に「私たちは入居者個人を尊重しプライバシーを守り安心と安らぎを感じ自信を持って生活して頂けるよう常に質の高いサービスを追求し急がず慌てずゆったりとした気持ちで接します」となっている。介護させていただくという気持ちを大切につくられた理念である。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は毎朝ミーティングで唱和している。理念に基づいたケアを実施するために、項目毎に分かりやすく噛み砕いた説明をつけたことで、職員は今まで以上に理念を理解できるようになった。入居者の名前を呼ぶ「～さん運動」を引き続き今年度も継続実行している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会には加入していないが、近隣の住民とは散歩時に挨拶を交わすことで顔馴染みの関係はできている。馴染みの美容院へカットに行き、帰りは店長が入居者を送ってきてくれることもある。入居者は喫茶店でお茶を楽しんだり、盆踊りに参加したり、9月の敬老の日には敬老会からプレゼントを頂いたりしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回が2回目の記述式自己評価票は前回より理解できたが、自分の伝えたいことを文章にするのは難しいという声が職員から聞かれた。評価結果については、年2回社内研修で話し合いの場が設けられ、できる改善項目から安全、安心を考えて取り組みを実行している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2カ月に1回運営推進会議を開催している。メンバーに入居者、入居者家族、老人クラブ会長、知見を有する者で構成され、業務活動報告や他のグループホームで起こった新聞記事を掲載することで情報提供している。また、外部評価結果は運営推進会議で読み合わせが行われた。出席者からは、外部から見た気づきの意見があり参考になっている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>中川区役所担当者にアドバイスを頂いたり、相談によって頂いたりしている。FAXにて研修会の情報を提供してもらうこともある。生活保護入居者の情報を提供することで、問題解決に繋げていく場合もある。社会福祉士、ケースワーカーとの関わりを通じて中川区の担当者から入居のお願い、空状況の問い合わせがある。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホーム便り「セラビたより」を毎月入居者家族に郵送している。内容は今月の予定表、往診結果、バイタルチェック、食事摂取などの報告を行なっている。ホーム便りの内容の充実に努めたいと検討をしている。入居者が必要な買い物がある時は、家族に連絡を取り、購入の確認の了承を得ている。その際、入居者の近状報告を行ない、家族との連絡を密に取っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱の設置はしてあるが、意見、苦情はない。入居者家族アンケートから、「代表が介護に対してしっかり向き合っているので安心」という意見があった。訪問時に口頭にて意見や相談があった時は、管理者より家族に納得してもらえるように説明が行われている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員離職に関して入居者への報告は自然の流れに任せている。離職の挨拶時に、お礼の言葉をかける入居者もいる。新人職員は、運営理念「介護させて頂く」という気持ちを大切に、約1週間程職員から入居者の名前を覚えてもらうことから始まり、2ユニットどちらのフロアでも対応できるようケアの実務指導を受ける。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホームは職員研修に力を入れている。認知症資料の読み合わせをすることで認知症に対する理解が深まり、ミーティング時に代表から介護に関する情報提供が、職員の知識アップに繋がっている。外部研修等はFAXにて送られてくる情報を参考に、個々のレベルに応じた研修会に参加することで、介護の質の向上を期待している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国グループホーム協議会の各種イベントに参加したり、名古屋市介護サービス事業者連絡研究会に加入することで、市内のグループホームと情報交換の交流ができている。他のグループホームと知り合うことで、看取り、エスケープ、おむつ交換の仕方など、職員同士勉強の場になっている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	地域の歯科医、病院の医師からの紹介で入居希望の問い合わせがある。入居予定者や家族にホームに来院してもらい、家族からは家庭での生活状況の話を伺い、見学をしてもらうことでホームの雰囲気をつかんでもらえるよう心がけている。入居予定家族と利用に至るまでの相談支援はできているが、本人が納得しての利用までには至っていない。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の昔話を聞いたり、料理を教えてもらったり、おばあさんの知恵袋ではないが年数重ねた長い人生の中で自然に身につけられた知恵が、職員にとって教わることで多く勉強になっている。入居者から「若いから頑張れよ」と励ましの言葉をかけてもらうこともある。編み物を教えてもらうことで職員の趣味の幅が広がった。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の介護から本人のできることを、できないことを把握している。入居者の覇気がなくなった、食べたことを忘れてしまうことに気がついた時は、観察を怠らず情報収集し、共有することで対応している。常に入居者との会話の中でこうして欲しいと言葉にされる時は、職員は言葉を受け止めできることに対しては実行に移している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居時に本人、家族から生活歴や希望を聞き取り、本人らしい暮らしを反映する目標で介護計画を立てて職員全員で共有している。職員の気づき、意見、アイデア、変化は介護記録に記載し口頭や申し送りで反映を図ることもある。医療面からは医師の情報提供や看護師の意見を参考に行っている。家族へは訪問時に説明をして同意をもらっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護記録、日々の関わりでの様子、モニタリングなどで実施期間が終了する前に介護計画の見直しをしている。状況によっては随時見直しも行う。変化や問題点を家族に報告、相談や話し合う機会も大切にしている。「ケア・モニ・カンファ」と名づけた会議を1週間に1度開催している。管理者、計画作成担当者、介護主任のメンバーで各階1名ずつの検討や評価をしている。ケアマネジャー、看護師の出席できない場合は計画変更前に仮プランで意見を取り入れている。家族へは訪問時に変更後の説明をして再び同意を得ている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>遠距離のかかりつけ医へ受診の支援、家族の事情により本人の行きたい所への支援が実施されている。入居者のつばやき、「温泉に行きたい」を聞きホーム全体で検討し、全員で出かけたこともある。以前はデイサービスやショートステイの検討をしたこともあるが、需要が少ないとのアドバイスが外部からあり、今後に向けてホームの多機能性を考えたいと検討している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>希望に添った受診ができるように家族の協力を得ながら支援している。受診後は家族から結果報告を詳しく受け、介護記録に残し情報共有を図っている。職員と受診した場合は家族に結果報告を電話などで迅速に行っている。職員間は記録と申し送りで情報を共有している。ホームドクターは週に1回訪問診療があり、緊急時は電話相談、緊急往診の対応、家族や職員からの個別相談も可能である。歯科医はホームからの連絡で往診、眼科は通院支援を行っている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>経口摂取が可能な限りホームで対応をしていく方針である。「重度化対応の指針に関する同意書」を契約時に作成している。本人、家族、医師、看護師などと十分話し合い、ホームでできること、できないことを理解して判断してもらっている。職員には自分の家族だったら何をやるだろうかを考へて、慌てず普段できることを見落とさないように支援をする。また、責任の所在を伝えることで自信と思いやりをもって勤務できるよう取り組んでいる。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>声かけには人生の大先輩であることを忘れないようにして名前は「ちゃん」ではなく「さん」で呼んでいる。家族、近所の方、新任職員が聞いた時にどう感じるだろうかなどの問いかけで取り組んでいる。トイレ、居室、浴室などノックをしてから入るよう心がけている。訪問時に入居者間で尊重し合っている声も聞いた。相談内容によっては個室を利用している。排泄の声かけは職員のさりげない誘導で取り組んでいる。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者のその日の状況に合わせた支援を実施している。昼寝をされる方、テレビを見ながら過ごされる方、掃除をする方、食事の準備の手伝いをする方など自由に過ごされている。健康維持のための体操、行事やレクリエーションなどは自由参加となっている。職員と車でのドライブ、買い物など入居者のペースを大切に支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は各階それぞれの業者から配達されている。アクシデントで食材の調達ができないことのないようにとの配慮をしている。カロリー計算がされており献立は決まっているが、調理の前に入居者と職員で話し合って献立や味付けの変更をすることがある。調理から片付けの流れに当番を設けて一人ひとりの力を発揮できるようにしている。調理の下ごしらえをしている人、カウンターで盛り付けをしている人とそれぞれの役割で生き生きしている姿が見られた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間を決めず自由に入ること基本にしているが、目配りの届かない時間は了解を得て変更をお願いすることもある。入浴剤や柚子湯など楽しめる。仲の良い方同士の入浴や職員の支援を楽しみにしている方もいる。毎日入る方や拒否のある方もいるが、3日目には入るように声かけの工夫をしている。入浴できない時は部分洗浄や清拭で対応している。入浴日には居室のドアに入浴カードを目印に下げて混乱のないような工夫がされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	何かしたい、役に立ちたいとの思いを大切に受け止め活力ある生活を提供している。皆が楽しめるゲームを取り入れたり、掃除、洗濯干し、たたみ、調理、買い物、お互い助け合っている。トラブルにならないよう当番制を取り入れている。午前中は入居者、職員共に活気がある。各階を行き来することが可能であり、入居者が別の階に調理を手伝うこともある。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	すぐ近くに公園があり、散歩コースになっている。ホーム1階は駐車場、屋上は洗濯干し場となっており開放感を感じると共に外気に触れる機会が生活の中に位置づけられている。希望により近所の喫茶店に出かけたり、「ちょっとそこまで」と職員とドライブ、入居者の一言を聞き漏らさず外食や近くの銭湯を楽しむ支援もしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各居室の鍵は入居者が自由に使用している。各階の鍵は家族からの強い要望もあり施錠しているが、鍵の管理ができる入居者には鍵を持ってもらっている。入居者の思いや行動を把握し開放的な空間や生活を支援できるよう気配りを怠らない対応を心がけている。職員間で鍵へのリスクや心理的弊害について話し合う取り組みを実施している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時に備えて3日分の水、食料を備蓄している。レトルト食品、米、鍋、卓上コンロ、また、数時間使用できるローソクも装飾品として身近にある。毎年、消防署から指導や点検を受けている。ホームは耐震、耐火構造の建物であり点検項目表に沿って月に1度自主点検を行ったり、避難経路を確認している。訓練時に転倒などの二次災害の恐れを考慮する必要があると認識している。		点検や確認と同様に昼間、夜間など入居者と職員が可能な限りの訓練を始める。いざという時に冷静かつ敏速に避難できるよう消防署、地域住民等の連携が図れる機会作りを期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各階で献立は違っているがカロリー計算がされている。入居者一人ひとりの食べる量や形状に配慮して無理のない摂取を支援している。汁物や水分の摂取にも気配りをしている。一度に飲めない場合は時間を開けての声かけや好みの飲み物を提供するなどして1日の摂取量900mlを最低の目安にしている。おやつも含めて栄養バランスを考慮し、月1回の体重測定値も参考にしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間にはソファが置かれテレビを見たり、話をしたりと思い思いに過ごしている入居者の姿が見られた。一角にマッサージチェア、ベッドもあり自由に寛げる空間となっている。壁には入居者の名前、生年月日が入った顔写真や四国八十八箇所のお札が額に整理して飾ってある。階段や廊下、トイレに手すりが設置され安心して移動できる。扇風機を使用して効率よくクーラーの温度管理をしている。階段の壁には明るい和風の手提げが幾つか飾っており、出窓にはインテリアに防火用のキャンドルが置いてある。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	全室畳の部屋であるが、和、洋と自由に使い分けている。部屋の入り口にはそれぞれに大きな暖簾が掛かっており清涼感やプライバシー保護にも役立っている。防火カーテン、リースの寝具はホームで用意しているが、他は馴染みの物を持ち込んでいる。タンス、ベット、テレビ、椅子などがあり、位牌や家族との写真、手作り作品を飾っているなど居心地のよい工夫があった。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。